

▶ 製品特徴	▶ 製品仕様	▶ 対応解像度の一覧	▶ 各種ケーブルの接続例
--------	--------	------------	--------------

### ■ 製品特徴

エントリーレンジグラフィックスソリューションNVIDIA Quadro FX 370 LPはロープロファイルデザイン準拠により、スリムPCに最適なグラフィックスソリューションです

NVIDIAユニファイドアーキテクチャにより、コンピューティング、ジオメトリ、シェーダープロセッシング処理において、優れたパフォーマンスを発揮し、CAD、デジタルコンテンツ制作、及びビジュアライゼーションアプリケーションを強力にサポートします。

またシェーダーモデル4.0をサポートすることにより、次世代のリアリスティックリアルタイムビジュアライゼーションにおけるイメージオリティを向上させます。

NVIDIA Quadro FX 370 LPグラフィックスボードは、コストパフォーマンスに優れたグラフィックスソリューションを提供します。



+ 画像拡大

🔗 サポート  
製品のサポート情報はこちら

📄 ダウンロード  
ドライバのダウンロードはこちら



### NVIDIA Quadro FX 370 LP グラフィックスボードの特徴

- NVIDIA ワークステーション GPU NVIDIA Quadro FX 370 LP
- 256MB DDR2 SDRAM 64bitバス接続グラフィックスメモリ
- PCI-Express x16対応 (PCI-E Ver2.0サポート)
- OpenGL 3.0対応
- DirectX10シェーダーモデル4.0サポート
- NVIDIA CUDAプログラミング環境サポート
- DMS-59ケーブルによる2系統のDVI出力及びアナログ出力
- DVI1系統 最大解像度1920 x 1200 (HDCP対応)
- プロフェッショナルグラフィックスアプリケーションに最適化されたOpenGL ドライバ
- EU RoHS指令準拠
- Energy Star 4.0準拠

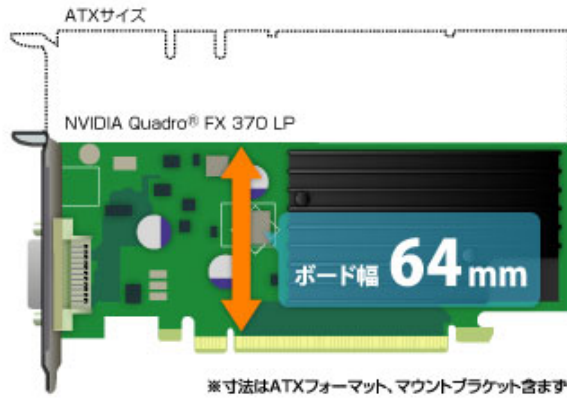
## ロープロファイルデザイン準拠

ロープロファイル デザイン準拠により今まで搭載できなかったスリムPCにもQuadro FXグラフィックスボードが搭載可能。

スリムPCでCADや3DCGアプリケーションが利用可能です。

※寸法はATXフォーマット、マウントブラケット含まず。

※ケースによっては搭載できない場合がございます。



## 静音パッシブヒートシンク搭載

パッシブヒートシンク搭載、冷却ファンの駆動音が無いため無音でのファンレス動作が可能です。

※冷却機構がヒートシンクのための製品は筐体（パソコンのケース）内のエアフロー（空気の流れ）を利用して冷却します。

エアフローが悪い筐体では熱による不具合を起こす可能性がありますのでケースファンを追加するなどしてヒートシンクに空気が流れるようにエアフローを確保し使用することをお勧めします。

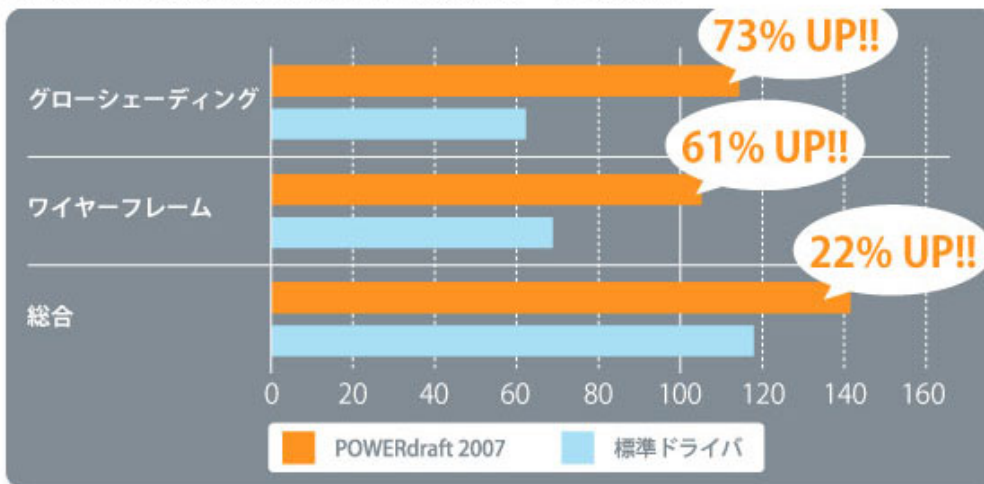


## Autodesk社AutoCADを加速させるパフォーマンスドライバが付属

Autodesk社のAutoCADを加速させるパフォーマンスドライバを付属。

Quadro FXグラフィックスボードとパフォーマンスドライバを組み合わせることで、AutoCADパフォーマンスを最大で5~10倍向上させます。(※)

### NVIDIA POWERdraft使用時のAutoCAD 2007パフォーマンス上昇率



※AutoCAD 2007による計測値。POWERdraft 2007使用。※ご使用の環境によってパフォーマンスは異なります。

※全ての環境でのパフォーマンス向上を保証するものではありません。

## NVIDIAユニファイドアーキテクチャ

NVIDIAユニファイドアーキテクチャにより、コンピューティング、ジオメトリ、シェーダー、及びピクセルプロセッシングにおいて、優れたGPUパフォーマンスを発揮します。

### NVIDIA CUDAプログラミング環境サポート

NVIDIA CUDA テクノロジは、NVIDIA GPUのプロセッシングパワーをオープンスタンダードなC言語を利用することにより、ビジュアライゼーションアプリケーションにおいて、プログラマブルGPUの性能を利用することが可能です。



### 大容量DDR2 256MBフレームバッファ

大容量のDDR2 256MBフレームバッファを搭載し、膨大なビジュアライゼーションモデル、テクスチャ、フレームなどのリアルタイムプロセッシングパフォーマンスを向上させます。



### PCI Express 2.0対応

最新規格のPCI Express 2.0バス対応に対応し、最大5GT/sの超高速接続が可能です。

もちろん既存のPCI-Expressバスとの互換性も維持しており、既存の環境でも問題なく搭載すること可能です。

※ すべての環境で動作を保証しているものではありません。



### DMS-59コネクタにより、2系統のDVIデジタル出力をサポート

DMS-59コネクタによるDVI2系統出力（1系統最大解像度1920 x 1200）をサポート、さらにアナログ変換コネクタを接続する事により、アナログ2系統の出力も可能となります。

出力はDVIとアナログの組みあわせによる表示も可能です。



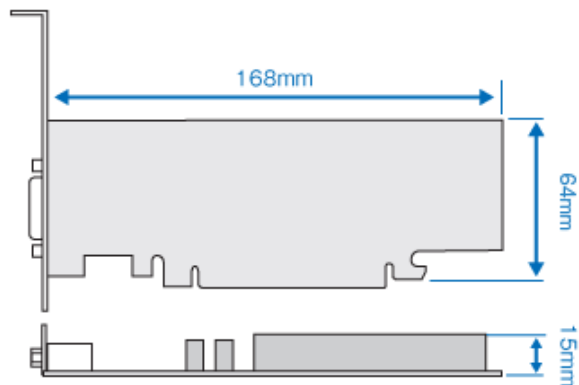
### Energy Star 4.0準拠

米国環境保護庁（EPA）と米国エネルギー省（DOE）が共同で推進するコンピュータ関連機器向け省電力プログラムEnergy Star 4.0に準拠、最大消費電力25Wと効率的な電力制御により消費電力を低減します。

#### ■ 製品仕様

グラフィックスプロセッサ	NVIDIA Quadro FX 370 Low Profile
コアクロック	540MHz
メモリ	256MB DDR2 SDRAM 64bitメモリバンド I/F

<b>メモリクロック</b>	1000MHz
<b>RAMDAC/ピクセルクロック</b>	400MHz (2nd RAMDAC / 400MHz)
<b>BIOS</b>	VESA-BIOS-3.0サポート
<b>バス</b>	PCI Express x16 (PCI Express 2.0対応)
<b>GPU機能</b>	128ビット精度浮動小数点パイプライン、アンリミットフラグメントインスタレーション、アンリミットパーテックスインスタレーション、3Dボリュームメトリックテクスチャサポート、クロックあたり12ピクセルのレンダリングエンジン、ハードウェアアンチエイリアス&ライン、ハードウェアOpenGLオーバーレイプレーンハードウェア、ハードウェア2サイドライティング <sup>g</sup> 、ハードウェア3Dウィンドウクリッピング、第3世代オクルージョンカリング <sup>g</sup> 、ピクセルあたり16テクスチャを処理、ハードウェアラインストリップング、PureVideo HD
<b>サポートアプリケーション</b>	<p>【CGアプリケーション】</p> <p>Autodesk Media and Entertainment 3ds Max, Maya, MotionBuilder, VIZ, Smoke, Lustre</p> <p>NewTek Lightwave 3D</p> <p>Avid SOFTIMAGE XSI</p> <p>Side Effects Houdini 他</p> <p>【CADアプリケーション】</p> <p>Autodesk Architectural Desktop</p> <p>AutoCAD,AutoStudio,DesignStudio,Inventor,Lightscape,Mechanical Desktop,VIZ</p> <p>AVEVA PDMS</p> <p>Bentley Microstation</p> <p>Co Create OneSpace</p> <p>Dassault CATIA, ESRI</p> <p>ICEM surf</p> <p>Lattice XLV</p> <p>MSC.Nastran, MDC.Patran</p> <p>PTC - Pro/ENGINEER, Wildfire, 3Dpaint, CDRS</p> <p>RealtimeTechnology DeltaGen/DeltaView</p> <p>UGS NX Series, I-deas, Solid Edge,SolidWorks,Unigraphics, SDRC 他</p> <p>【ビデオ・ブロードキャストアプリケーション】</p> <p>Adobe Premiere,After Effects,Macromedia Suite</p> <p>Avid Media Composer Adrenaline HD, NewsCutter, Xpress family, DS Nitris, Liquid Family, Studio,</p> <p>Pinnacle Pinnacle Studio, Liquid Edition,</p> <p>Autodesk Media and Entertainment Fire, Smoke, Inferno, Flame, Flint, Toxik, Combustion,</p> <p>Newtek TriCaster他</p>
<b>スタンダード</b>	RoHS, CE, FCC, VCCI, DDC2B
<b>最大消費電力</b>	25W
<b>コネクタ</b>	ディスプレイ : DMS-59Iコネクタ x1 (DVI-I 2系統、 HDCPサポート)
<b>対応OS</b>	Windows XP (32bit / 64bit) Windows Vista (32bit / 64bit) Windows 7 (32bit / 64bit)
<b>外形寸法</b>	168 x 64 x 15mm(Low Profile、ATXフォーマット、マウントブラケット含まず)
<b>外形寸法図</b>	



#### ■必要動作環境

<b>CPU</b>	Intel Pentium 4もしくはAthlonクラス以上のDOS/V PC及びワークステーション
<b>バス</b>	PCI Express x16
<b>電源</b>	350W以上の電源が必要。
<b>システムメモリ</b>	1GB以上のシステムメモリ(2GB推奨)
<b>ハードディスク</b>	140MB以上
<b>CD-ROMドライブ</b>	ソフトウェアのインストールに必要
<b>モニタ</b>	31.5KHz以上の水平スキャンレートが表示可能なモニタ

#### ■製品内容

- NVIDIA Quadro FX 370 LPグラフィックスボード
- DVI-VGA変換アダプタ×2
- DMS-59ケーブル×1
- ロープロファイルブラケット
- ドライバ&ソフトウェアCD-ROM
- 日本語インストールガイド
- 日本語ユーザーマニュアル
- 日本語保証書

#### ■保証期間

3年間保証

#### ■品番

<b>製品名</b>	NVIDIA Quadro FX 370 LP
<b>型番</b>	EQFX370-256ERLP
<b>JANコード</b>	4524076983716

#### ■価格

オープンブライズ

#### ■解像度サイズ比較表



パソコン解像度



ワイド解像度



テレビ解像度

■ サポート解像度/リフレッシュレート一覧

解像度(Pixel)	アナログリフレッシュレート (Hz)	デジタルリフレッシュレート (Hz)
2560×1600	-	-
2048×1536	60	-
1920×1200	85	60
1920×1080	85	60
1680×1050	100	60
1600×1200	100	60
1600×1024	100	60
1600×900	120	60
1440×900	60	60
1360×768	150	60
1280×1024	150	75
1280×960	150	75
1280×768	150	75
1280×720	150	75
1152×864	170	75
1024×768	200	75
848×480	240	75
800×600	240	75
640×480	240	75

※上記の数値は最大値であり、ご使用のパソコンの環境により左右されます。  
またドライバのバージョンによっては一部の解像度が表示出来ない場合がございます。

[より詳細な解像度対応表はこちら](#)

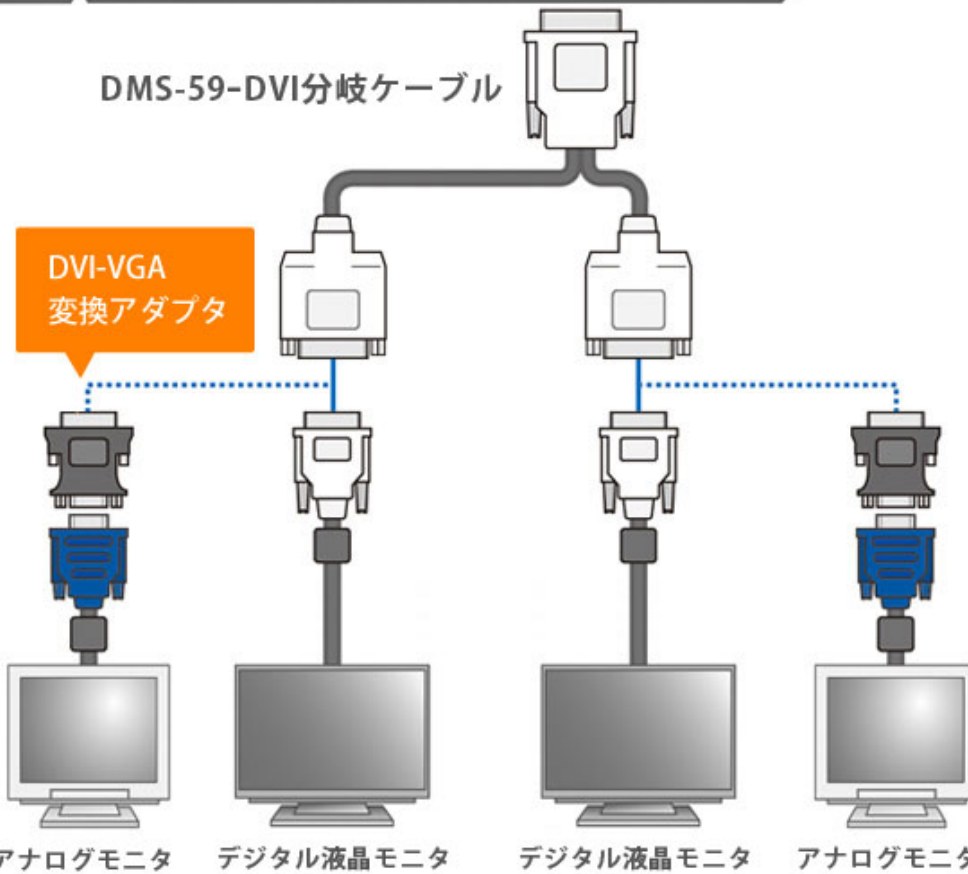
■ 接続例

各種ディスプレイの接続例

## DMS-59コネクタ



## DMS-59-DVI分岐ケーブル



接続できるモニタの数は最大2台までです。

(※1) DMS-59分岐ケーブルのDVI-IコネクタにはDVIデジタルモニタ、VGAアナログモニタのいずれか一つが接続可能です。

[▲ページの先頭へ](#)